

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



根本瑞生 くん
(令和元年8月生まれ・関戸)
家族の笑顔の中心！ 早く歩けるといいね！
(父：一輝、母：あゆみ)



石丸裕誠 くん(左)
華 ちゃん(右)
(平成30年8月生まれ、平成28年7月生まれ・南間中橋)
これからも2人仲良くすくすく育ってね。
(父：雄一郎、母：美華)



中澤湊人 くん
(平成29年11月生まれ・女沼)
メロンもいけど野菜もね★
たくさん食べて大きくなーれ！
(父：健人、母：朋美)



鈴木那奈 ちゃん
(平成31年4月生まれ・山田)
お歌が大好き☆これからも元気にすくすくと育ってね！
(父：行男、母：美千穂)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0~3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールのタイトルを「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティブロモーション課)へ申し込みください♪



わたしの夢

母を治すために

並木日和さん 水海小学校6年生

私の将来の夢は、皮ふ科の医者になることです。皮ふ科の医者になろうと思ったきっかけは、皮ふの弱い母がつかそうにしているのを見て、私が治してあげたいと思ったからです。もし夢が実現したら、皮ふのかゆみや痛みなどで悩んでいる多くの人たちを救いたいと考えています。

この夢をかなえるために、たくさん勉強をしたり、学校でも先生の話をよく聞いたりしています。一人でも多くの患者さんを治すことができる皮ふ科の医者になりたいです。



▲一枚板の前に立つ清水さん(左)、関口さん(右)

キラリ 古河ビト

末永く愛されるモノを

オーダーメイドの家具・建具を造る若手職人

関口隼平さん(29歳)
清水雅弘さん(29歳)

市内でオーダーメイドの家具・建具の製作や販売をしている関口さんと清水さん。家業を継ぎ、職人としての道を歩むことを決めたきっかけや、モノづくりへの思いを伺いました。

下大野にある家具店の長男として生まれ、家具職人として日々研さんを積む関口さん。小さいころから作業場で祖父が家具を造る姿を見てきたことや、木や道具と触れ合いながら成長しました。高校卒業後は、全国から家具や建具職人を目指す人たちが集まる東京建具高等職業訓練校に進学。そこで、同期で入学した建具職人を志す清水さんと出会います。2人は、お互いを良き理解者として切磋琢磨し合い、一級技能士や職業訓練指導員の資格を取得してきました。

今年4月から、2人で活動を始め、一枚板のテーブルや特注の家具、建具の製作から、ふすまや障子の張り替え、修理まで幅広く手掛けています。末永く愛される物を届けたいという思いから、使用するのは無垢の木材。既製品には無い世界に一つだけの木の表情や温もりは、年月を重ねるごとに自身に馴染み、愛着が生まれると言います。

お客さんやその家族の思い出と一緒に刻んでいく家具や建具を作るという信念を持って作業に打ち込む2人。これからお互いの特技を尊重し合い協力して、100年先まで愛されるモノづくりをしたいと話すと2人の目は希望に満ちあふれていました。



▲カンナ掛けを行う関口さん



▲一枚板を使用したオーダーメイドのダイニングテーブル



▲家具や建具を製作するために使用するカンナは100種類にも及びます